

令和 6 年 6 月第 9 回定例会一般質問要旨

6 月 4 日（火） 1 0 時開会

総時間 8 時間 15 分（1 人 45 分以内）

通告順	議席	氏名	質 問 事 項	質 問 要 旨	答弁者	時間
1	1 2	池田 榮次	1. 3 月議会の答弁確認について	(1) 町長は「現時点で自治基本条例の制定は考えていない」と答弁した。その真意を問う。 (2) 唐船城址は誰の所有か。守るべきは誰か。 (3) 唐船城の始祖祭を提唱したが、町長は地域での実行委員会を主張し「町民と行政は乖離があるべきだと思っている」と答弁した。真意を問う。地域・地元とは何処を指すのか。 (4) 防災ライブカメラに係る県・設置者との協議結果を問う。	町長 教育長	45
			2. 花粉症と有害鳥獣対策について	(1) 花粉が少ない杉・ヒノキの植林推進を。 (2) 町有林を実のなる自然林に。	町長	
			3. 小中学校の適正規模・適正配置について	(1) 答申に基づく審議はいつ頃終わる予定か。 (2) 有田小も統合の対象と理解してよいか。	町長 教育長	

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
2	2	岩尾 匡	1. 古民家再生事業（仮称）について	(1) 民都機構によるまちづくりについて ①事業化の概要と町が目指す展望は。 ②先に内山地区の課題としていた、有田館など町有施設の老朽化対策・佐賀銀行跡地利活用による賑わい創出などとの優先性は。	町長 担当課長	15
			2. 町の事業評価について	(1) 各事業の評価法について ①決算時の評価は。 ②消化事業の評価は。 ③各課の事業引継ぎについて。	町長 担当課長	15
			3. 高齢者福祉就労者について	(1) 就労者及び事業者への支援について ①外国人も含む就労者の事業所への斡旋サポートは。 ②就労当事者支援の現状と今後の検討可能なことは。 ③その他、福祉関係就労者の募集状況は。	町長 担当課長	15

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
3	6	樋渡 徹	1. 災害対策について	(1) 令和 6 年能登半島地震に見る上水道遮断の教訓で、生活用水の確保のための、個人や企業が所有する井戸水の利用検討（防災井戸）の必要性は。 ※火災時の消防水利を含む。 (2) 地震発生時の電気を起因とする火災から住民の生命と財産を守るため、感震ブレーカー設置推進の検討は。 (3) 炊き出しについて ①長期に渡る避難所開設時の炊き出しの検討は。 ②婦人会会員の減少や、老人クラブ等女性部の高齢化を踏まえた対策は。 (4) 台湾地震にならう、官民連携による迅速な避難所開設の検討は。 (5) 日航機事故にならう、訓練の検討は。	町長 担当課長	45
			2. 不動産等の相続について	(1) 本町での空き家の現況は。 (2) 売却を検討されている空き家情報の充実を。 (3) 相続放棄の手順は。 (4) 相続放棄の場合の第三者への譲渡例は。		

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
4	3	久保田 豊	1. 陶器市の今後の課題と対策	(1) 駐車場(障害者等用駐車場を含む)は足りたのか。 (2) トイレの問題はどうだったか。 (3) 店舗数が少なかったが、今後の空き店舗対策は。 (4) その他、クレームや問題点等はないか。	町長 担当課長	25
			2. 安全と安心の対策	(1) 信号機の無い横断歩道の安全対策は。 (2) 防災井戸の対策は。 (3) 今期の防災訓練の実施予定は。	町長 担当課長	20

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
5	5	中島達郎	1. アカデミック・タウン（芸術に特化したまち）構想	(1) 有田南部工業団地造成用地等を県立大学建設用地として造成を。 (2) 県立大学と佐大有田キャンパス・窯業技術センター・有田工業高校と包括連携し、陶芸や彫刻、絵画等の芸術に特化したアート・バレー（例：シリコンバレー）の形成を。 (3) 地域の伝統や技術等も活かしたアートの集約による、交流人口や移住人口の増加を。	町長 担当課長	20
			2. 児童の道德	(1) 有田の名前の由来を元にした、過去・現在・未来を通した、これからの子どもたちの誇りや郷土愛を育む道德教育を。 (2) 有田の名前の由来等をタウンプロモーションの一環として、町のSNSで紹介を。	町長 教育長 担当課長	15
			3. 高齢者対応の窓口業務	(1) 高齢者等の戸籍等の証明書発行の際に、交付履歴の活用を。 (2) 公的な調査依頼等、町民の現住所開示に関わる「個人情報保護法」の法的拘束力が及ばない（法律に抵触しない）手続きに関するマニュアルづくりを。	町長 担当課長	10

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
6	1	浦川 和彦	1. 学校の働き方改革を踏まえた部活動地域移行	(1) 有田町部活動検討委員会の現状と課題について ①部活動検討委員会の進捗状況は。 ②部活動の現状と課題は。 ③部活動の環境整備をどのようにしていくのか。 ④環境整備の課題は。 ⑤今後の組み立てやスケジュールはどのように考えているのか。	町長 教育長 担当課長	20
			2. 有田町立小中学校適正規模適正配置審議会の答申を受けて	(1) 答申後の進め方について ①答申をどのように受け止められたか。 ②答申を受けての課題は。 ③町民の意見集約の方法をどのように進めていくのか。 ④優先順位、大まかな方向性とスケジュールは。	町長 教育長 担当課長	15
			3. 情報発信・SNSの取り組み	(1) 生まれ変わったホームページの特徴、改善点は。 (2) 新しい Instagram による、若い世代を引き付けるまちの魅力発信について。	町長 担当課長	10

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
7	4	諸隈 洋介	1. 給食費の無償化	(1) 教育長の交代に伴い、町長の最初の公約であった給食材料費の無償化について、町長及び教育長の見解を再度確認する。 (2) 給食材料費の無償化の財源に、ふるさと応援基金の活用を。	町長 教育長 担当課長	45
			2. 町奨学金の減免	(1) 有田町へ帰省して就職する若者への、奨学金減免を含めた支援を。		
			3. 財政の健全化と予算規模	(1) 財政健全化の指標といわれる経常収支比率の推移と、増加する予算の合理性は。 (2) 指定管理料を含めた 0 ベースでの検証を。		
8	7	手塚 英樹	1. 陶器市通信インフラについて	(1) 携帯電話の基地局許容量を超える人出のため、QR コード決済・画像送信の不具合などが起きている。車載型基地局・可搬型基地局の設置による、通信インフラの整備を。	町長 担当課長	15
			2. 空き家対策について	(1) 富山県上市町では 2022 年度から 0（ゼロ）円空家バンクに取り組み、同年度の転入者数が前年度より 77 人、2023 年度には 170 人増加している。有田町でも検討してはどうか。		
			3. 英語教育実施状況調査の結果について	(1) 2023 年度の結果公表では、佐賀県は最下位であった。有田町の結果は。		

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
9	9	原田一宏	1. 人口減少問題	(1) 日本創成会議（2014）と人口戦略会議（2024）の将来推計人口の状況把握は。 (2) なぜ減少していくかの原因究明は。 (3) 町の子育て支援と定住促進事業について。 (4) これからの対策と他市町との差別化は。	町長 担当課長	25
			2. 窯業界の将来	(1) 商工会議所の業界実態調査の認識は。 (2) どうすることが良策かの判断は。 (3) 実動するための課題とその対応は。	町長 担当課長	20

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
10	8	福島 日人士	1. 介護保険対策について	(1) 県内また有田町の介護保険料の状況は。 (2) 団塊の世代全員が 2025 年には 75 歳以上となる。高齢者人口増と介護サービス需要増加が見込まれるが、介護職員の確保について町の対策は。 (3) 有田町の介護保険運営の将来展望と、その対応は。	町長 担当課長	20
			2. 歴史と文化の森公園利用について	(1) 公園内芝生の一部を、高齢者のグラウンドゴルフ場として利用できないか。 (2) コミュニティバス利用による活用対策を。	町長 担当課長	15
			3. 本村・楠木原線と佐世保市横手町への接続道路の対応について	(1) 現在の進捗状況は。	町長 担当課長	10

通告順	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者	時間
11	13	梶原貞則	1. 企業誘致について	(1) 松尾町長が町長に就任されて 6 年以上になるが、今まで誘致した企業の数。またその社員数は。 (2) この 6 年間の人口の推移は。また出生数の推移は。 (3) 南部工業団地を開発することとなった経緯は。 (4) この 6 年間に南部工業団地に誘致しようとして交渉した企業数は。 (5) その中で誘致に至らなかった理由は。 (6) 今後、誘致しようとして交渉予定の企業数は。 (7) 今後の対策は。	町長 担当課長	45